

科目名：老年看護学援助論Ⅱ (Gerontologic Nursing Assistance Theory Ⅱ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員： 小浦さい子（実務経験有）、石川智子（実務経験有）、石井一義（実務経験有） 外部講師（認知症認定看護師）		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	加齢による変化や障害をあわせもつ高齢者の心身に対して、生活を整える看護の考え方と援助の方法を修得する。 CP2, 3, 5, 6に関連する。 科目 No.KNz-215		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	① 高齢者の健康生活を支えるうえで、高齢者自身の持つ力を活かす看護について理解できる。 ② 高齢者に特徴的な症候・疾患・障害について、加齢の影響も含めた看護について説明できる。 ③ 治療（薬物療法、手術療法など）を受ける高齢者の看護について説明できる。 ④ 認知症を有する高齢者および認知症高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。 ⑤ 終末期にある高齢者および高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。		
授業概要	高齢者に特有な症状や疾患・障害に応じた看護、健康状態や受療状況に応じた看護について学習する。		
評価方法	定期試験 100 点 評価に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学. 北川公子他, 医学書院. 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論, 鳥羽研二他, 医学書院. 看護過程実践ガイド 棚橋泰之著.		
参考書	授業・演習の中で適宜紹介します。		

お問い合わせ 連絡先	<p>小浦さい子 授業終了後～18:00 第3号館3階研究室 s.koura@kdu.ac.jp</p> <p>石川智子 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp</p> <p>石井一義 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp</p> <p>外部講師については、小浦あてメールで対応します。</p> <p>不在時はメールでお願いします。</p>
---------------	--

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	ガイダンス ①老年看護援助論Ⅱの授業概要が理解できる。 ②老年症候群とは何かが説明できる。 ③老年症候群の分類が説明できる。	[予習] シラバスで授業内容を確認し、授業に臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。ポートフォリオ作成 [キーワード] アクティブラーニング、高齢者特有の症候・疾病とアセスメント、高齢者に対する看護、老年症候群の分類	講義 ○小浦
2 (/)	老年症候群(1)に付随する症候の看護 ①熱中症の成因と治療・看護が理解できる。 ②脱水の成因と治療・看護が理解できる。	[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめ、ポートフォリオに整理する。 [キーワード]意識、熱中症、脱水症、脱水症の発生機序、検査データ、臨床所見	講義 ○小浦
3 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(1)(脳血管障害) ①脳血管障害の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめ、ポートフォリオに整理する。 [キーワード] 脳卒中の疾患分類、診断・治療、症状、治療経過、経過別の看護、	講義 ○小浦
4 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(3)(パーキンソン病) ①パーキンソン病の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめ、ポートフォリオに整理する。 [キーワード] 4つの症状、重症度分類、薬物療法、アドヒアランス、日内変動、クリニカルパス	講義 ○小浦
5 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(4)(高齢者肺炎・感染性胃腸炎) ①高齢者肺炎の病態生理・症状が理解できる。 ②高齢者肺炎患者に必要な看護が説明できる。 ③感染性胃腸炎の病態生理・症状が理解できる。 ④感染性胃腸炎患者に必要な看護が説明できる。	[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] 肺炎の種類、原因菌、高	講義 ○小浦

		<p>齢者肺炎のメカニズム、診断・治療、気道クリアランス、酸素化、ノロウイルス、感染経路、予防策</p>	
6 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(5) (骨粗鬆症・骨折)</p> <p>①骨粗鬆症の病態生理・症状が理解できる。 ②骨粗鬆症患者に必要な看護が説明できる。 ③高齢者に多い骨折部位が説明できる。 ④大腿骨近位部骨折の治療経過が理解できる。 ⑤骨折の治療・看護の原則が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] 骨粗鬆症の定義、成因、リモデリング、骨密度 YAM、予防、高齢者に多くみられる骨折、治療の原則、大腿骨近位部骨折、ガーデン分類、クリニカルパス、看護の要点</p>	<p>講義 ○小浦</p>
7 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(6) (COPD)</p> <p>①COPD の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③COPD 患者に必要な看護が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] COPD、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患、呼吸不全、在宅酸素療法、クリニカルパス</p>	<p>講義 ○小浦</p>
8 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(7) (うつ、せん妄)</p> <p>①高齢者のうつ状態の症状が理解できる。 ②高齢者のうつに対する看護のポイントが説明できる。 ③せん妄のリスク要因が説明できる。 ④せん妄を予防するための看護が説明できる。 ⑤せん妄発生時の看護が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] せん妄、dementia、抑うつ、うつ状態</p>	<p>講義 ○小浦</p>
9 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(9) (前立腺疾患)</p> <p>①前立腺肥大症の検査と診断について説明できる。 ②前立腺肥大症の治療と看護について説明できる。 高齢者の手術療法に対する看護 ①手術を受ける高齢者の特徴と術前管理について説明できる。 ②高齢者に特徴的な手術と援助について理解する。 ③術後合併症の予防と、援助について理解する。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] 前立腺肥大症、前立腺がん、高齢者ゆえのリスク、意思決定、術前管理、術後管理、術後合併症予防</p>	<p>講義 ○小浦</p>
10 (/)	<p>薬物療法と看護</p> <p>①加齢に伴う薬物療法の変化を理解する。 ②服薬管理とリスクマネジメントについて説明できる。 ③薬物療法に対する援助について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。 [復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。 [キーワード] 薬物動態の変化、有害反応、看護師の責務、高齢者と薬の関係、アドヒアランス、多剤併用 (ポリファ</p>	<p>講義 ○石川 智子</p>

		ーマシー)	
11 (/)	<p>高齢者のセクシャリティ</p> <p>①高齢者のセクシャリティの特徴</p> <p>②高齢者の性生活</p> <p>③高齢者ケアの場における性に関する問題</p> <p>④セクシャリティのアセスメントと看護</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。</p> <p>[キーワード]セクシャリティ、性機能の加齢変化、LGBT、性生活</p>	<p>講義</p> <p>○小浦</p>
12 (/) 13 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(8) (認知症)</p> <p>①認知症の定義が説明できる。</p> <p>②認知症の基本構造が説明できる。</p> <p>③認知症の診断・治療と予防について理解できる。</p> <p>④認知症 4 疾患の特徴が説明できる。</p> <p>⑤認知症患者に必要な看護が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。</p> <p>[キーワード]中核症状、BPSD、MMSE、SPECT、画像検査、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体、前頭側頭型</p>	<p>特別講義</p> <p>○認知症認定看護師</p>
14 (/)	<p>高齢者の疾患の特徴と看護(2) (心不全)</p> <p>①心不全の病態生理・症状が理解できる。</p> <p>②治療経過が理解できる。</p> <p>③治療経過に応じた看護が説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] キーワードをもとに授業内容をまとめておく。</p> <p>[キーワード] 右心不全、左心不全、急性心不全、慢性心不全、フォレスター分類、NYHA 心機能分類、予防、クリニカルパス</p>	<p>講義</p> <p>○石井一義</p>
15 (/)	<p>終末期の看護</p> <p>①終末期の概念と晩年期の特徴について説明できる。</p> <p>②終末期の生き方や死の迎え方の意向について説明できる。</p> <p>③終末期の身体兆候について理解できる。</p> <p>④終末期の苦痛緩和と安楽のための援助について説明できる。</p> <p>⑤終末期の精神的苦痛に対する援助について説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書該当ページを読んで臨む。</p> <p>[復習] キーワードにそってまとめる。</p> <p>[キーワード]自己の死生観、ターミナルケア、緩和ケア、エンドオブライフケア、死にいたる経過の 4 類型、意思決定支援、症状マネジメント、日常生活支援、悲嘆</p>	<p>講義</p> <p>○小浦</p>